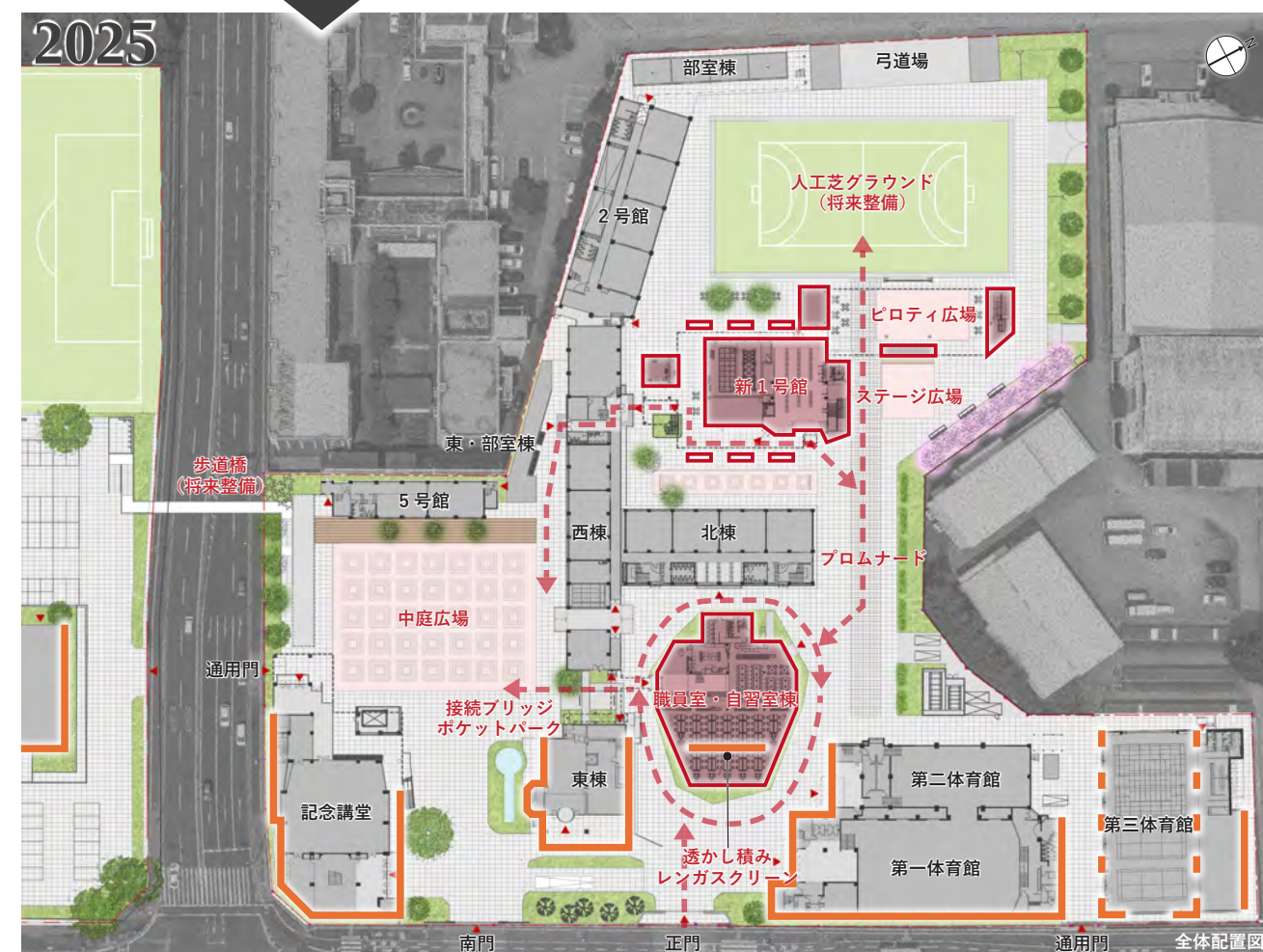
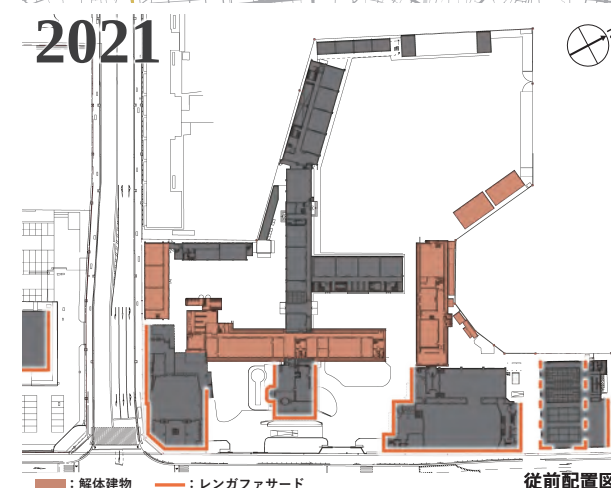


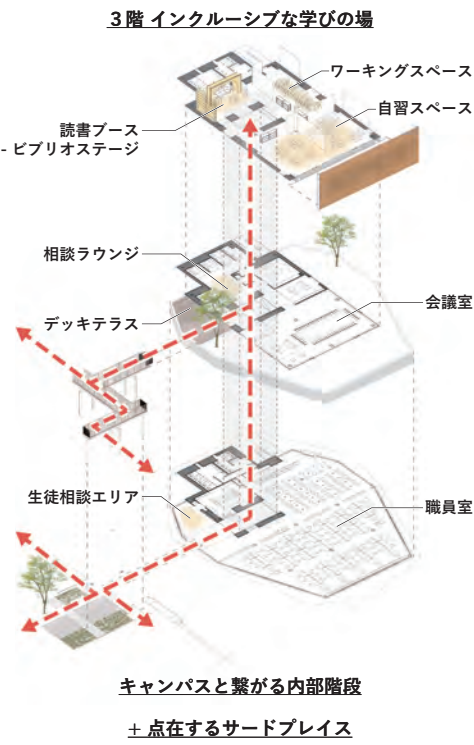


宇都宮短期大学附属高等学校建替計画 新1号館及び職員室・自習室棟

宇都宮市を拠点として生徒数約2500人を擁する私立中高一貫校のキャンパス再編計画。生徒数増に合わせ段階的に増築され、更新時期を迎えた校舎群に対し【戦略的な減築と増築によるこれからの時代のキャンパス再編手法】を模索した。学園の正面性を形成するレンガタイル外装の建屋は残し、築50年超の建屋を中心に、「ポケットパーク」「プロムナード」など、校舎機能と連動した外部空間を創出する【選択的な減築】を行った。併せて【既存環境を生かす増築】として、複数の既存校舎出入口に囲まれた回遊動線の起点となる「職員室・自習室棟」、交通の大動脈であるプロムナードと一部教室が残る既存棟との接続を強化した「新1号館」(高校教室棟)を整備した。職員室・自習室棟には、中心に据えた内部階段を介しキャンパス動線と繋がるように、生徒/教員の授業外の接点となるサードプレイスを整備し、様々な事情を抱える生徒や多様な学外活動を受け入れるインクルーシブで開かれた場を創出した。



職員室・自習室棟



職員室・自習室棟は四周を既存棟（4棟）の出入口に面して配置し、1階をセットバックした八角形平面とすることで、各出入口へのアクセスを高め、回遊動線の起点として整備した。



【選択的減築】と【既存環境を活かす増築】



新1号館



北側に半屋外となる2層のピロティを計画し、プロムナードとグラウンドを繋いだ。南側の既存棟接続部には3階の外部階段を設置、新棟の特別教室群へのアクセスを高め、連携を強化する結節点とした。



インクルーシブで開かれた学びの場

